猿島ぶどう研究会が現地研究会を開催

猿島ぶどう研究会は坂東地域（坂東市、古河市、境町）のぶどう生産者５名で組織された研究会で、栽培技術の向上や情報交換・収集を目的とした研究活動を行っています。

今年度は１月１０日に古河市において、農業総合センター専門技術指導員を講師に招き、①シャインマスカット等欧州系ぶどうの短梢剪定の要点、②最近のぶどう品種における若木の樹づくりのポイントについて、現地研究会を開催しました。今回は会員外の新規栽培者も１名加わり、計６名の参加がありました。

まずはじめに、古河市葛生のほ場において、昨年定植した「クイーンセブン」の若木の短梢剪定における芽の切り方、発芽を確保するための発芽促進剤の処理方法および芽傷の入れ方のポイント等について研修しました。次に古河市磯部のほ場に移動し、昨年定植した「シャインマスカット」の若木の樹づくりのポイントについて再度確認するとともに、土壌改良等の意見交換を行いました。

両ほ場ともに来年から収穫開始が見込まれ、再来年には本格的な収穫となる予定です。

令和５年１月１２日　　坂東地域農業改良普及センター　木村宏明（成長産業）